

様式1

(判定計画班)

令和4年度 被災建築物応急危険度判定 三鷹市実施本部名簿

班名			氏名	主な業務内容
実施本部長			〇〇 〇〇	判定全般の総括、災害対策本部との連絡、調整
判定計画班 2～6名	1	○	●● ●●	①判定実施計画の作成、見直し ・判定区域、判定実施期間、判定実施の要否、必要判定士の検討、決定、把握 ②判定実施計画の決定 ③住民対応、報道機関対応 ④支援本部との連絡調整 ・支援本部への連絡 [判定業務の実施、食料状況、判定結果、判定業務中止等] ・支援本部への要請 [応援判定士支援、輸送、宿泊先等] (実施本部→支援本部)
	2		●● ●●	
	3		●● ●●	
	4	△	●● ●●	
	5			
	6			
判定支援班 3～10名	1	○	△△ △△	①建築物の被災状況、交通規制等に関する情報収集 ②地元判定士等への参集要請 ・参集場所、参集時間、食事や移動手段、判定予定期間等 ③判定士等の受付、受入、名簿の作成、管理 ④判定コーディネーターの補助 ・判定士の班編成等 ⑤判定コーディネーターとの連絡、調整 ⑥判定結果のとりまとめ ・判定実施区域、判定建築棟数の把握 ・判定結果の最終集計
	2		△△ △△	
	3		△△ △△	
	4	△	△△ △△	
	5	△	△△ △△	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
後方支援班 2～6名	1	○	■ ■ ■ ■	①実施本部設営 ②調査区域図の準備 ③判定資機材の補充・準備・回収 ④食事・宿泊所の用意 ⑤判定士等の移動手段(自転車)の確保用意 ⑥広報活動(HP、防災無線放送、避難所への掲示事項の連絡) ⑦民間判定士等補償制度事務
	2		■ ■ ■ ■	
	3	△	■ ■ ■ ■	
	4			
	5			
	6			
判定コーディネーター 2名	1		☆☆ ☆☆	①判定実施準備 ②判定士の受入準備 ③判定実施チーム及び班の編成、班名簿作成 ④調査区域図、判定資機材等の配付 ⑤判定士に対する判定作業の説明 ⑥判定士の健康状態の把握 ⑦判定業務の開始 ⑧判定士との連絡調整 ⑨判定結果の回収、判定支援班へ渡す ⑩判定実施記録の作成
	2		☆☆ ☆☆	

凡例

○：班リーダー

△：被害状況の確認のために現地調査を行う職員

※人事異動等があった場合は随時更新する

(注、実施状況による計画見直しがあるものとして様式は3日間で設定しています。)

三鷹市 (地区) 被災建築物応急危険度判定実施計画書

A. 実施内容

実施本部の設置場所						
	実施本部長					
	担当課 (窓口)			担当者		
	電話			F A X		
判定拠点の設置場所	責任者					
	電話			F A X		
実施オペレーションタイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイプ A (すべての対象を外観調査を中心の判定) ・ タイプ B (要請のあった対象を立入調査を含む判定) 					
判定実施期間	日間 (月 日 ~ 月 日)					
判定実施区域						
判定士の集合場所						
要判定地への移動手段						
要判定地への移動ルート						
判定対象建築物	(日付)	1 日 目 (月 日)	2 日 目 (月 日)	3 日 目 (月 日)	4 日 目 以 降	合 計
	優先順位 及び 用途規模					
	概数	棟	棟	棟	棟/日	棟
編成規模	チーム数					
	班 数					

B. 必要な判定士等数{()内は、支援本部へ依頼する数}

必要な判定士総数	(人)	(人)	(人)	(人/日)	(人)
必要な判定コーディネーター数	(人)	(人)	(人)	(人/日)	(人)
実施本部要員数	(人)	(人)	(人)	(人/日)	(人)

C. 必要資機材や物資の確保{()内は、支援本部へ依頼する数}

		1日目	2日目	3日目	4日目以降	計
判定調査表	木造	()	()	()	/日 (/日)	()
	RC造	()	()	()	/日 (/日)	()
	鉄骨造	()	()	()	/日 (/日)	()
ステッカー	危険	()	()	()	/日 (/日)	()
	要注意	()	()	()	/日 (/日)	()
	調査済	()	()	()	/日 (/日)	()
街区マップ (判定区域調査図)						
		()	()	()	/日 (/日)	()
		()	()	()	/日 (/日)	()
		()	()	()	/日 (/日)	()
		()	()	()	/日 (/日)	()
		()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()
判定士用食料		()	()	()	/日 (/日)	()
判定士の 宿泊場所	確保した施設 と収容人数					
民間判定士等補償制度適用の有無			有 ・ 無			

D. 広報の実施及び相談窓口の開設

広報活動の実施方法	判定実施区域：	
	市内全域	：
相談窓口の設置場所		
	担当組織	担当者
	TEL	FAX

(注、実施状況による計画見直しがあるものとして様式は3日間で設定しています。)

三鷹市（ ） 地区）被災建築物応急危険度判定実施計画書

A. 実施内容

実施本部の設置場所		三鷹市野崎 1-1-1 三鷹市役所第二庁舎 1 階				
実施本部長		建築指導課長				
担当課（窓口）		建築指導課安全監察係			担当者 ●●	
電話		0422-29-9746		F A X 0422-71-2258		
判定拠点の設置場所		同上			責任者	
電話		F A X				
実施オペレーションタイプ		・タイプ A（すべての対象を外観調査を中心の判定） ・タイプ B（要請のあった対象を立入調査を含む判定）				
判定実施期間		9 日間（ ●月 ●日～ ●月 ●日）				
判定実施区域		三鷹市 ●● ●丁目、●● ●丁目、●● ●丁目の一部				
判定士の集合場所		三鷹市野崎 1-1-1 三鷹市役所第二庁舎 1 階 三鷹市都市整備部建築指導課				
要判定地への移動手段		徒歩、自転車				
要判定地への移動ルート		未定				
判定対象建築物	（日付）	1 日目 （●月●日）	2 日目 （●月●日）	3 日目 （●月●日）	4 日目以降	合 計
	優先順位 及び 用途規模	住宅 10 階建未 満	住宅 10 階建未 満	住宅 10 階建未 満	未定	
	概数	800 棟	800 棟	800 棟	棟/日	2,400 棟
編成規模	チーム数	42	42	42		
	班 数	5	5	5		

想定のため、計画実数に修正要

B. 必要な判定士等数{()内は、支援本部へ依頼する数}

必要な判定士総数	84 人 (60 人)	84 人 (60 人)	84 人 (60 人)	84 人/日 (60 人/日)	252 人 (180 人)
必要な判定コーディネーター数	2 人 (0 人)	2 人 (0 人)	2 人 (0 人)	2 人/日 (0 人/日)	2 人 (0 人)
実施本部要員数	14 人 (0 人)	14 人 (0 人)	14 人 (0 人)	14 人/日 (0 人/日)	14 人 (0 人)

様式 1 に基づき記入

参考資料 26 より
(=20 枚×42 チーム)

記入例は想定のため、実際の判定棟
数に合わせ要修正

3 日目までの使用状況により、4
日目以降の依頼数を決定する

C. 必要資機材や物資の確保{()内は、支援本部へ依頼する数}

		1 日目	2 日目	3 日目	4 日目以降	計
判定調査表	木造	840 (0)	840 (0)	840 (0)	未定/日 (未定/日)	未定 (未定)
	R C 造	210 (0)	210 (0)	210 (0)	未定/日 (未定/日)	未定 (未定)
	鉄骨造	210 (0)	210 (0)	210 (0)	未定/日 (未定/日)	未定 (未定)
ステッカー	危険	420 (0)	420 (0)	420 (0)	未定/日 (未定/日)	未定 (未定)
	要注意	420 (0)	420 (0)	420 (0)	未定/日 (未定/日)	未定 (未定)
	調査済	840 (0)	840 (0)	840 (0)	未定/日 (未定/日)	未定 (未定)
街区マップ (判定区域調査図)		配付数(セット)=チーム数 42			未定	未定
油性マーカー	消耗品につき 不足・経年劣 化に注意	42 (0)	42 (0)	42 (0)	未定/日 (未定/日)	未定 (未定)
ガムテープ	チーム数=	42 (0)	42 (0)	42 (0)	未定/日 (未定/日)	未定 (未定)
● ●		● (●)	● (●)	● (●)	未定/日 (未定/日)	未定 (未定)
		()	()	()	/日 (/日)	()
		()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()
判定士用食料		未定 (0)	未定 (0)	未定 (0)	未定/日 (0 /日)	未定 (0)
判定士の 宿泊場所	確保した施設 と収容人数	未定	未定	未定	未定	未定
民間判定士等補償制度適用の有無		有 ・ 無				

D. 広報の実施及び相談窓口の開設

広報活動の実施方法	判定実施区域：防災無線放送、避難所掲示	
	市内全域	: ホームページ
相談窓口の設置場所	三鷹市被災建築物応急危険度判定実施本部	
	担当組織	都市整備部建築指導課 担当者 ● ●
	TEL	0422-29-9746 FAX 0422-71-2258

応急危険度判定支援 要請・回答書 第 次(第 報)

(要 請 書) (回 答 書)

様式3
(判定計画班)

発信日時: <input type="text"/> 記入者: <input type="text"/> (会員名・氏名)		発信日時: <input type="text"/> 記入者: <input type="text"/> (会員名・氏名)			
要請先: <input type="text"/>		回答先: <input type="text"/>			
<p>応急危険度判定支援要請の連絡です。</p> <p><input type="text"/> では <input type="text"/> に発生した地震により、<input type="text"/> の建物に被害が出ている模様です。</p> <p>そのため、災害対策本部に判定実施本部(支援本部)を設け、応急危険度判定を <input type="text"/> から <input type="text"/> まで実施する予定です。つきましては、以下の支援をお願いします。</p>		<p>応急危険度判定支援回答の連絡です。</p> <p><input type="text"/> から</p> <p><input type="text"/> に以下の支援が可能です。</p>			
(日付) 第 次 (月 日 ~ 月 日)		(日付) 第 次 (月 日 ~ 月 日)			
要請判定士 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)		派遣判定士 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)			
宿 泊 手 配	派遣側 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)	宿 泊 手 配	派遣側 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)		
	依頼側 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)		依頼側 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)		
昼 食 準 備	派遣側 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)	昼 食 準 備	派遣側 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)		
	依頼側 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)		依頼側 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)		
判定調査表	木造 <input type="text"/> 百枚 RC <input type="text"/> 百枚 S造 <input type="text"/> 百枚	判定調査表	木造 <input type="text"/> 百枚 RC <input type="text"/> 百枚 S造 <input type="text"/> 百枚		
ステッカー	危険 <input type="text"/> 百枚 要注意 <input type="text"/> 百枚 調査済 <input type="text"/> 百枚	ステッカー	危険 <input type="text"/> 百枚 要注意 <input type="text"/> 百枚 調査済 <input type="text"/> 百枚		
参 集	①	場 所 <input type="text"/>	①	派遣人数 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)	この参集場所に 人派遣可能です。
		時 間 <input type="text"/> TEL <input type="text"/>			
	②	場 所 <input type="text"/>	②	派遣人数 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)	この参集場所に 人派遣可能です。
		時 間 <input type="text"/> TEL <input type="text"/>			
	③	場 所 <input type="text"/>	③	派遣人数 <input type="text"/> 人 (延べ <input type="text"/> 人)	この参集場所に 人派遣可能です。
		時 間 <input type="text"/> TEL <input type="text"/>			
移動手段	<input type="text"/>				
移動ルート	<input type="text"/>				
備 考:	<input type="text"/>				
<input type="text"/>					

全国被災建築物応急危険度判定協議会

メールの場合は署名を、FAXの場合は送付用紙を必ずつけてください。

記入例

【例】三鷹市⇒東京都

【例】東京都⇒三鷹市

様式3

(判定計画班)

応急危険度判定支援 要請・回答書 第1次(第1報)

(要請書)

(回答書)

発信日時: 令和4年8月28日	記入者: (会員名・氏名) 三鷹市 ○○	発信日時: 令和4年8月28日	記入者: (会員名・氏名) 東京都 ○○
要請先: 東京都		回答先: 三鷹市	
<p>応急危険度判定支援要請の連絡です。</p> <p>三鷹市 では 令和4年8月28日 10時00分頃 に発生した地震により、 約3,000棟 の建物に被害が出ている模様です。</p> <p>そのため、災害対策本部に判定実施本部(支援本部)を設け、応急危険度判定を 8月29日 から 8月31日 まで実施する予定です。つきましては、以下の支援をお願いします。</p>		<p>応急危険度判定支援回答の連絡です。</p> <p>●● から</p> <p>三鷹市 に以下の支援が可能です。</p>	
<p>(日付) 複数のブロック又は会員に並列的に要請する場合は、その合</p> <p>第1次 (8月29日～8月31日)</p>		<p>(日付) 第1次 (8月29日～8月31日)</p>	
要	60人 (延べ 180人)	派遣判定士	○○人 (延べ ○○人)
宿泊配	派遣側 60人 (延べ 180人)	宿泊配	派遣側 ○○人 (延べ ○○人)
	依頼側 ○人 (延べ ○人)		依頼側 ○人 (延べ ○人)
昼食準備	派遣側 60人 (延べ 180人)	昼食準備	派遣側 ○○人 (延べ ○○人)
	依頼側 ○人 (延べ ○人)		依頼側 ○人 (延べ ○人)
判定調査表	木造 百枚 RC 百枚 S造 百枚	判定調査表	木造 百枚 RC 百枚 S造 百枚
ステッカー	危険 百枚 要注意 百枚 調査済 百枚	ステッカー	危険 百枚 要注意 百枚 調査済 百枚
参集	① 場所 三鷹市野崎1-1-1 三鷹市役所第二庁舎1階建築指導課	参集	① 派遣人数 この参集場所に ○○人派遣可能です。 (延べ ○○人) 備考:
	時間 8時30分 TEL 0422-29-9746		
	② 場所		② 派遣人数 この参集場所に ○○人派遣可能です。 (延べ ○○人) 備考:
	時間 TEL		
	③ 場所		③ 派遣人数 この参集場所に ○○人派遣可能です。 (延べ ○○人) 備考:
	時間 TEL		
移動手段	<p>実施本部までは公共交通機関(電車・バス)等で参集ください。</p> <p>参集後、判定区域までは徒歩または自転車(貸出)となります。</p>		
移動ルート	<p>(例)お車の場合、都道●号が●●付近で通行止めとなっているため、迂回ください。</p> <p>(例)鉄道の場合、●●線が運休となっています。●●線をご利用ください。</p>		
備考	<p>・応援判定士名簿(行政、民間別)及び判定資器材リストを持参願います。</p> <p>・駐車場が少ないため、なるべく公共交通機関をご利用のうえ、参集ください。やむを得ずお車で参集される場合は、予め台数等をお知らせください。</p> <p>・宿泊場所は学校体育館しか用意できず、朝夕食も用意できないことから、派遣側若しくは支援本部(都)にて確保いただきたく願います。</p> <p>・昼食は必要な場合、防災備蓄食等の支給になるため、極力判定士自身で用意願います。</p>		

全国被災建築物応急危険度判定協議会

メールの場合は署名を、FAXの場合は送付用紙を必ずつけてください。

班名簿

様式 4

(コーディネーター)

_____ 班

コーディネーター：

連絡先：0422-29-9746

判定日：令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ()

判定区域：三鷹市 _____

チーム	判定街区	◎：班 長 ○：副班長	登録番号	氏 名	携帯電話番号
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

記入例

班名簿

様式 4
(コーディネーター)

班番号は実施本部にて指定します

22-01

班

コーディネーター：●●●● (市職員名)
連絡先：0422-29-9746

班の判定活動開始日 通し番号

判定日：令和 ●年 ●月 ●日 (●)

判定区域：三鷹市 深大寺2丁目●番、●番、●番の一部

チーム	判定街区	◎：班長 ○：副班長	登録番号	氏名	携帯電話番号
1	902003	◎	●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
			●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
2	902004	○	●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
			●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
3	参考資料5 調査区番号を記入 ●●●●●●		●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
			●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
4	●●●●●●		●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
			●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
5	●●●●●●		●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
			●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
6	●●●●●●		●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
			●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
7	●●●●●●		●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
			●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
8	●●●●●●		●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
			●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
9	●●●●●●		●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
			●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
10	●●●●●●		●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●
			●●-●●●●●●●●	●● ●●	●●●-●●●●-●●●●

(様式3)

整理番号	
------	--

様式5 (判定支援班)

被災建築物応急危険度判定士受付名簿

(地方公共団体名 : 三鷹市)

判定・訓練活動の期間	年 月 日 時から 年 月 日 時まで
集合場所	三鷹市野崎1-1-1 三鷹市役所 第二庁舎 1階
確認日時	年 月 日 時 確認者氏名

記入方法

- (1) 本様式は、受付簿として、民間(地元)判定士参集時に記入する。応援判定士については、東京都を経由し、別途名簿通知を受けることから本様式の記入は不要。
- (2) 本様式は、活動期間毎であるため、異なる活動期間の判定士を記入することはできない。
- (3) 「確認」欄は、記載後に登録証との照合確認欄とする。登録証を持参しない場合は、運転免許証での確認を可とする。
- (4) 様式左側部分「No.」列～「確認欄」列までは、全国被災建築物応急危険度民間判定士等補償制度事務 マニュアル4(2)に基づく様式3に適用しているため、補償制度を適用する場合は、当該部分を通知すること。(活動翌月の20日まで)

※受付時に「判定士業務マニュアル」及び添付様式等(様式6～9、参考資料6～8、15、26～29)を配付する

No.	登録番号	氏名	性別	年齢	勤務先・連絡先	確認欄
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

自宅住所	連絡先(携帯) 連絡先(自宅)	経験有無	専門分野	所属建築団体	交通用具	備考
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	

(注) 整理番号は活動単位毎に記入すること

被災建築物応急危険度判定士受付名簿

(地方公共団体名 : 三鷹市)

判定・訓練活動の期間	2025年9月1日 9時から 2025年9月3日 17時まで
集合場所	三鷹市野崎1-1-1 三鷹市役所 第二庁舎1階
確認日時	2025年9月10日 時 確認者氏名 ●●●● (市職員)

記入方法

- 本様式は、受付簿として、民間(地元)判定士参集時に記入する。応援判定士については、東京都を経由し、別途名簿通知を受けることから本様式の記入は不要。
- 本様式は、活動期間毎であるため、異なる活動期間の判定士を記入することはできない。
- 「確認」欄は、記載後に登録証との照合確認欄とする。登録証を持参しない場合は、運転免許証での確認を可とする。
- 様式左側部分「No.」列～「確認欄」列までは、全国被災建築物応急危険度民間判定士等補償制度事務マニュアル4(2)に基づく様式3に適用しているため、補償制度を適用する場合は、当該部分を通知すること。(活動翌月の20日まで)

※受付時に「判定士業務マニュアル」及び添付様式等(様式6～9、参考資料6～8、15、26～29)を配付する

No.	登録番号	ふりがな氏名	性別	年齢	ふりがな勤務先・連絡先	確認欄
1	●●●●-●●●● ●●●●●●●●	みたか たろう 三鷹 太郎	男	40	まるまるけんせつ (株)●●建設 03-●●●●●●-●●●●	✓
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

・受付時にA3サイズで用意し、記入してもらう。
 ・補償制度適用連絡時は、左半分(A列～Q列)までを支援本部に通知する。
 ・右半分(R列～Y列)は、緊急連絡先の把握、班編成時等の参考とする

自宅住所	連絡先(携帯) 連絡先(自宅)	経験有無	専門分野	所属建築団体	交通用具	備考
三鷹市野崎1-1-1	090-●●●●-●●●● 0422-●●●●-●●●●	×	木 S RC	東京建築士会	自転車 車 その他	●日～●日のみ活動可能 昼食支給希望
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	
			木 S RC		自転車 車 その他	

(注) 整理番号は活動単位毎に記入すること

木造建築物の応急危険度判定調査表

整理番号 _____ 調査日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 調査回数 _____ 回目
 調査者氏名（都道府県/No） _____ (_____ / _____)
 _____ (_____ / _____)

整理番号

建築物概要

- 1 建築物名称 _____ 1.1 建築物番号 _____
 2 建築物所在地 _____ 2.1 住宅地区整理番号 _____
 3 建築物用途 1.戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所
 7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場
 12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場、遊戯場等 16.その他 (_____)
 4 構造形式 1.在来(軸組)構法 2.枠組(壁)工法(ツーバイフォー) 3.プレファブ 4.その他 (_____)
 5 階数 1.平屋 2.2階建て 3.その他 (_____)
 6 建築物規模 1階寸法 約ア _____ m×イ _____ m

建築物番号

住宅地区整理番号

3

4

5

ア

イ

調査方法

調査 調査方法：(1.外観調査のみ実施 2.内観調査も併せて実施)

- 1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1.建築物全体又は一部の崩壊・落階	2.基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3.建築物全体又は一部の著しい傾斜	4.その他 (_____)

1

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1.危険無し	2.不明確	3.危険あり
②構造躯体の不同沈下	1.無し又は軽微	2.著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3.小屋組の破壊、床全体の沈下
③基礎の被害	1.無被害	2.部分的	3.著しい(破壊あり)
④建築物の1階の傾斜	1.1/60以下	2.1/60~1/20	3.1/20超
⑤壁の被害	1.軽微なひび割れ	2.大きな亀裂、剝落	3.落下の危険有り
⑥腐食・蟻害の有無	1.ほとんど無し	2.一部の断面欠損	3.著しい断面欠損
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合(要内観調査)	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合

①

②

③

④

⑤

⑥

判定

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①瓦	1.ほとんど無被害	2.著しいずれ	3.全面的にずれ、破損
②窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り
③外装材 湿式の場合	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剝離
④外装材 乾式の場合	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破壊
⑤看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り
⑥屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜
⑦その他 (_____)	1.安全	2.要注意	3.危険
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランク	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

判定

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

総合判定

1. 調査済 (緑) 2. 要注意 (黄) 3. 危険 (赤)

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

鉄骨造建築物の応急危険度判定調査表

整理番号 _____ 調査日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 調査回数 _____ 回目
 調査者氏名 (都道府県/No) _____ (_____ / _____)
 _____ (_____ / _____)

整理番号

建築物概要

- 1 建築物名称 _____ 1.1 建築物番号 _____
 2 建築物所在地 _____ 2.1 住宅地図整理番号 _____
 3 建築物用途 1.戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所
 7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場
 12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場、遊戯場等 16.その他 (_____)
 4 構造形式 1.ラーメン構造 2.ブレース構造 3.プレファブ 4.その他 (_____)
 5 階数 地上 _____ 階 地下 _____ 階
 6 建築物規模 1階寸法 約 A _____ m × I _____ m

建築物番号

 住宅地図整理番号

 3
 4
 地上 _____ 階
 地下 _____ 階
 A _____ m
 I _____ m

調査 調査方法：(1.外観調査のみ実施 2.内観調査も併せて実施)

1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1.建築物全体又は一部の崩壊・落階	2.基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3.建築物全体又は一部の著しい傾斜	4.その他 (_____)

調査方法

 1

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク	
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1.危険無し	2.不明確	3.危険あり	
②不同沈下による建築物全体の傾斜	1.1/300以下	2.1/300~1/100	3.1/100超	
③建築物全体又は一部の傾斜				
被害最大の階(階)	傾斜を生じた階の上の階数が1階以下の場合	1.1/100以下	2.1/100~1/30	3.1/30超
	傾斜を生じた階の上の階数が2階以上の場合	1.1/200以下	2.1/200~1/50	3.1/50超
	④部材の座屈の有無	1.無し	2.局部座屈あり	3.全体座屈あるいは著しい局部座屈
	⑤筋違の破断率	1.20%以下	2.20%~50%	3.50%超
	⑥柱梁接合部及び継手の破壊	1.無し	2.一部破断あるいは亀裂	3.20%以上の破断
	⑦柱脚の破損	1.無し	2.部分的	3.著しい
	⑧腐食の有無	1.ほとんど無し	2.各所に著しい錆	3.孔所が各所に見られる
	危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合 (要内観調査)	2.要注意 Bランクが3以内の場合	3.危険 Cランクが1以上又はBランクが4以上

①
 ②
 ③
 被害最大の階
 階
 ④
 ⑤
 ⑥
 ⑦
 ⑧
 判定

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①屋根材	1.ほとんど無被害	2.著しいずれ	3.全面的にずれ、破損
②窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り
③外装材 湿式の場合	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剝離
④外装材 乾式の場合	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破壊
⑤看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り
⑥屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜
⑦その他 (_____)	1.安全	2.要注意	3.危険
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合

①
 ②
 ③
 ④
 ⑤
 ⑥
 ⑦
 判定

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済 (緑) 2. 要注意 (黄) 3. 危険 (赤)

総合判定

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

集計欄は数字で記入

RC

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表

整理番号 _____ 調査日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 調査回数 _____ 回目
 調査者氏名(都道府県/No) _____ (_____ / _____)
 _____ (_____ / _____)

建築物概要

- 1 建築物名称 _____ 1.1 建築物番号 _____
- 2 建築物所在地 _____ 2.1 住宅地図整理番号 _____
- 3 建築物用途 1.戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所
7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場
12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場、遊戯場等 16.その他(_____)
- 4 構造種別 1.鉄筋コンクリート造 2.プレキャストコンクリート造 3.ブロック造
4.鉄骨鉄筋コンクリート造 5.混合構造(_____)と(_____)
- 5 階数 地上 _____ 階 地下 _____ 階
- 6 建築物規模 1階寸法 約^ア _____ m × ^イ _____ m

調査 調査方法：(1. 外観調査のみ実施 2. 内観調査も併せて実施)

1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1. 建築物全体又は一部の崩壊・落階	2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜	4. その他(_____)

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
判定(1) ① 損傷度Ⅲ以上の損傷部材の有無	1. 無し	2. あり	
判定 ② 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険 ③ 地盤破壊による建築物全体の沈下 ④ 不同沈下による建築物全体の傾斜	1. 危険なし	2. 不明確	3. 危険あり
	1. 0.2m 以下	2. 0.2m~1.0m	3. 1.0m 超
	1. 1/60 以下	2. 1/60~1/30	3. 1/30 超
	柱の被害(下記⑤⑥の調査階(被害最大の階) _____ 階)(壁構造の場合は柱を壁の長さを読みかえる)		
判定(2) ⑤ 損傷度Ⅴの柱本数/調査柱本数	損傷度Ⅴの柱総数 _____ 本 調査柱 _____ 本 (調査率 _____ %)		
	1. 1%以下	2. 1%~10%	3. 10%超
判定(2) ⑥ 損傷度Ⅳの柱本数/調査柱本数	損傷度Ⅳの柱総数 _____ 本 調査柱 _____ 本 (調査率 _____ %)		
	1. 10%以下	2. 10%~20%	3. 20%超
危険度の判定 判定(1)と判定(2)のうち大きな方の危険度で判定する	1. 調査済み 全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1の場合	3. 危険 Cランクが1以上又はBランクが2以上

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①窓枠・窓ガラス	1. ほとんど無被害	2. 歪み、ひび割れ	3. 落下の危険有り
②外装材(モルタル・タイル・石貼り等)	1. ほとんど無被害	2. 部分的なひび割れ、隙間	3. 顕著なひび割れ、剥離
③外装材(ALC板・PC板・金属・ブロック等)	1. 目地の亀裂程度	2. 板に隙間が見られる	3. 顕著な目地ずれ、板破壊
④看板・機器類	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 落下の危険有り
⑤屋外階段	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 明瞭な傾斜
⑥その他(_____)	1. 安全	2. 要注意	3. 危険
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

- 1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

コメント(構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。

整理番号

建築物番号

住宅地図整理番号

3 _____
4 _____
地上 _____ 階
地下 _____ 階
ア _____ m
イ _____ m

調査方法

1 _____

判定(1)
① _____

② _____

③ _____

④ _____

柱の被害最大の階

⑤ _____

⑥ _____

判定(2)

判定

① _____

② _____

③ _____

④ _____

⑤ _____

⑥ _____

判定

総合判定

RC造

混構造の場合は、構造ごとに調査表を使用してください。

記入例

様式6-1
(判定士)

※計測は数字で記入

木造建築物の応急危険度判定調査表

整理番号 調査日時 月 日 午前・(午後) 時 調査回数 1 回目
 調査者氏名 (都道府県/No) 三鷹太郎 (東京都 /)
三鷹次郎 (東京都 /)

木

整理番号

建築物概要

1 建築物名称 1.1 建築物番号 建築物番号
 2 建築物所在地 野崎1-1-1 2.1 住宅地図整理番号 住宅地図整理番号
 3 建築物用途 戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所
 7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場
 4 構造形式 在来軸組構法 2.枠組(壁)構法(ワベイホ) 3.プレファブ 4.その他 ()
 5 階数 1.平屋 2.2階建て 3.その他 ()
 6 建築物規模 1階寸法 約 7 m × 6 m

配布した調査区域図(参考資料5)右上の調査区域番号6~7桁を記入

建築物番号

住宅地図整理番号

3 1

4 1

5 2 階

ア 7 m

イ 6 m

測定器具は使用せず、概略目視法を記入

調査 調査方法: 1. 外観調査のみ実施 2. 内観調査も併せて実施

1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1. 建築物全体又は一部の崩壊・落階	2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜	4. その他 ()

調査方法
1

1 —

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	<input checked="" type="radio"/> 1. 危険無し	2. 不明確	3. 危険あり
②構造躯体の不同沈下	<input checked="" type="radio"/> 1. 無し又は軽微	2. 著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3. 小屋組の破壊、床全体の沈下
③基礎の被害	1. 無被害	<input checked="" type="radio"/> 2. 部分的	3. 著しい(破壊あり)
④建築物の1階の傾斜	1. 1/60 以下	2. 1/60~1/20	<input checked="" type="radio"/> 3. 1/20 超
⑤壁の被害	1. 軽微なひび割れ	<input checked="" type="radio"/> 2. 大きな亀裂、剥落	3. 落下の危険有り
⑥腐食・蟻害の有無	<input checked="" type="radio"/> 1. ほとんど無し	2. 一部の断面欠損	3. 著しい断面欠損
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合(要内観調査)	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	<input checked="" type="radio"/> 3. 危険 Cランクが1以上ある場合

① 1

② 1

③ 2

④ 3

⑤ 2

⑥ 1

判定
3

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①瓦	<input checked="" type="radio"/> 1. ほとんど無被害	2. 著しいずれ	3. 全面的にずれ、破損
②窓枠・窓ガラス	<input checked="" type="radio"/> 1. ほとんど無被害	2. 歪み、ひび割れ	3. 落下の危険有り
③外装材 湿式の場合	1. ほとんど無被害	<input checked="" type="radio"/> 2. 部分的なひび割れ、隙間	3. 顕著なひび割れ、剥離
④外装材 乾式の場合	1. 目地の亀裂程度	2. 板に隙間が見られる	3. 顕著な目地ずれ、板破壊
⑤看板・機器類	<input checked="" type="radio"/> 1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 落下の危険有り
⑥屋外看板	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 明瞭な傾斜
⑦その他 ()	1. 安全	<input checked="" type="radio"/> 2. 要注意	3. 危険
危険度の判定	1. 調査済み 全部Aランクの場合	<input checked="" type="radio"/> 2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合

① 1

② 1

③ 2

④ —

⑤ 1

⑥ —

⑦ 2

判定
2

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済 (緑) 2. 要注意 (黄) 3. 危険 (赤)

総合判定
3

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

建物全体の傾斜が著しいため危険です。

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。